

防災寺子屋「都筑むつみ会」

都筑むつみ会は、脳血管疾患等の後遺症により麻痺・高次脳機能障害等の障害を持った方の、機能維持・機能向上、社会で生活できることに必要な健康管理・生活の自立・仲間作り・地域との交流などを支援しています。

横浜市都筑区にあり、今回障害者のための「防災寺子屋」ということで、当財団の岩永理事が講師を担当しました。

1)実施日 2018年2月10日(土) 10:00-12:00

2)参加者 身障者8名+スタッフ11名+仲町台自治会長=20名

TV画像を見ながら、「防災を楽しんでください」としました。

1. どんな災害があるのかなあ？

まずは、自由に発表してください！（どんどん言ってもらいます

出尽くしたところで、主な自然災害の写真を使って、みんなで一つ一つ確認します。

「いろいろな災害を知って」そして「災害に備える」・・・この大事さを知ってください。

2. いざというときの備えに挑戦しよう！

『ピンゴゲーム』をやる中で「防災グッズ」を揃えましょう！

3. 終わりの言葉

「受援力」を身につけてください。頼まれて嬉しいという支援を引き出すことです。

私たち、スタッフの面々も支援する力を高めます。みなさんも支援を受ける力を日頃から養ってください。家に閉じこもらないで、お友達・知人も積極的に表に出て、「受援力」をつけてください。

『支援力と受援力』をお互い強めよう！

